

第3回泉佐野丘陵緑地運営会議設立準備会

大阪府では、泉佐野丘陵緑地の公園整備について、各界専門家からなる標記の運営会議設立準備会を設置し、府民の皆様にご理解いただける公園運営計画案の策定に努めてまいります。

この度、第3回の会議を開催いたしました。その概要は下記のとおりです。

会議の概要

- ・日時：2008年2月29日（水）10:00～12:20
- ・場所：日根野ステーションホテル2F（ローズ）
- ・出席委員（敬称省略）
 - 大阪府立大学生命環境科学部緑地環境科学科教授 増田 昇(委員長)
 - 大阪市立大学環境都市工学科准教授 嘉名 光市
 - 大阪府立大学生命環境科学部緑地環境科学科准教授 下村 泰彦
 - NPO 法人プラス・アーツ代表 永田 宏和
 - 大阪ガス エネルギー・文化研究所研究員 弘本 由香里
 - 泉佐野観光ボランティア協会会長 吉野 勝
 - 大阪府立大学生命環境科学部緑地環境科学科 中村 彰浩（代理出席）
 - 泉佐野市都市整備部長 松下 義彦（代理出席）

発表の概要

先進的公園の取り組みを行う堺自然ふれあいの森「いっちゃんクラブ」「堺市役所」及び計画地周辺で活動を行う「財団法人泉佐野公園緑化協会」「桃山学院大学」の代表者より、活動の内容について発表いただいた。

「いっちゃんクラブ」

堺自然ふれあいの森の概要、開園までの経緯、さらに「いっちゃんクラブ」について、話題提供をいただいた。

堺市役所

堺自然ふれあいの森について、市として支援している内容について「人材・人材育成」「組織」「施設・物品」「利用促進」「予算」の面から話題提供をいただいた。

「財団法人泉佐野市公園緑化協会」

泉佐野市公園緑化協会の活動内容について話題提供をいただいた。

「桃山学院大学」

当計画地に関わるようになったきっかけや、大学の授業の一環として里山保全活動に取り組む「人間力創造プログラム」について話題提供をいただいた。

審議の概要

今後の議論に向けて事務局より以下の議案について説明を行った。

議題1「テーマの読み替えについて」

- ・ 現行のテーマをさらに読み替えた府民にわかりやすいテーマ設定について、事務局から説明を行った。

議題2「公園の運営体制について」

- ・ 今後、当準備会や後に設置される運営会議等について、事務局から説明を行った。

議案3「パーククラブの体制について」

- ・ パーククラブを組織するにあたり、その組織構成について、事務局から説明を行った。

各委員の主な意見、質疑

- ・ 公園運営に対して参画する府民に対して「ボランティア」という呼び方をするより、むしろ「市民公益事業」という呼び方をするべき。「ボランティア」というと、何となく労働奉仕的にしか見られない。市民が市民に対して行うサービスを「市民公益事業」と呼んだ方がよい。
- ・ 活動されている団体は今後もさらに関わって行くべきで、さらには活動に関わっていないが関わりたいと思う人たちに対しても展開されていくべき。その時にいっちゃんクラブが決めているルールみたいなものが必要。

委員長のまとめ

- ・ 今回の発表で本計画においても参考になる部分があった。今後の検討の題材として活用を図ることが必要。
- ・ 事務局より提示された議案については、時間の都合上説明を聞くに留まった。次回の準備会において内容を検討したい。
- ・ 公園は明確な目標を共有するということと、ある一定の社会的ルールを守りながら展開していくことが必要。